

キー・トピック

- イタリア使節団が
東方経済フォーラム
に初参加

- 電子ビザ制度が
ブリヤート共和国と
ザバイカリエ地方に
拡大

- ロシア極東開発省
が新プロジェクトに
合わせて「クリル経済
特区」の拡大を提案



東方経済フォーラムのニュース

2019年4月18日「タス通信」

イタリア使節団が東方経済フォーラムに初参加

モスクワでロシアのA.コビャコフ大統領補佐官と在露イタリア大使のP.テッラッチャーノ氏の会談が行われた。会談ではサンクトペテルブルク国際経済フォーラム（6月6日～8日）と東方経済フォーラム（9月4日～6日）へのイタリア使節団の参加が話し合われた。テッラッチャーノ氏は「ロスコングレス基金」の後援の下にロシアで開催される国際経済イベント及び国際パートナーシップの発展を高く評価した。

<https://tass.ru/ekonomika/6347914>

2019年4月11日「タス通信」

ロシア極東開発国家プログラムが東方経済フォーラム2019でロシア大統領に披露

2025年までのロシア極東開発国家プログラムが第5回東方経済フォーラムのキーテーマとなる。ロシア極東開発大臣のアレクサンドル・コズロフ氏によると、記念年を迎えるため、フォーラムではロシア極東の発展における東方経済フォーラムの貢献、その歴史により注意を向け、主な成功例を視覚的にデモンストレーションする必要があるという。

コズロフ大臣は、地域議題を話し合う国際的な会場としてのフォーラムの位置づけが強化されることになると述べた。大臣はまた、東方経済フォーラム会場が、アジア太平洋諸国との二国間会議開催の機会を提供する場になることを強調した。

<https://tass.ru/ekonomika/6325767>

ロシア極東地域の国家政策

2019年4月18日「RIAノーボスチ」

電子ビザ制度がブリヤート共和国とザバイカリエ地方に拡大

ドミートリー・メドヴェージェフ首相はブリヤート共和国とザバイカリエ地方でビザ制度を簡素化する法案に署名を行った。簡素化ビザでの観光客受け入れを行う許可を受けた空港は、ウラン・ウデ空港とチタ空港である。ビザ簡素化制度は2019年1月からこれらの地域で開始される。電子ビザ取得が可能な国は18ヶ国となる。

簡素化ビザ制度はロシア極東で2017年から施行されている。これまでに電子ビザにより世界15ヶ国から5万4千人の人々がロシア極東を訪れた。

<https://ria.ru/20190418/1552803338.html>

2019年4月3日「ヴェスチー」

ロシアの国家院がロシア極東と北極地方におけるクルーズ観光法を承認

新たな法案には、外国船舶の観光客が出入国できる特定の地点と港のリストが含まれている。これにより航路が拡大し、同地域のクルーズ観光業の発展にも貢献するとみなされている。

<https://www.vesti.ru/doc.html?id=3133279>

ロシア極東経済ニュース

2019年4月29日「インテルファクス」

沿海地方ホタテ・ナマコ養殖プロジェクトの投資額が30億ルーブルに

ウラジオストク自由港の登録企業「ギペリオン」は中国の「Dalian Shangpintang社」と共同で養殖・加工・販売施設を立ち上げる。ナマコ、ホタテ、昆布が養殖・加工・販売される予定である。計画生産量は年間400トンに上る。施設立ち上げ後、200人の新規雇用が生まれることになる。第一段階の投資額は5億ルーブルとなる。テストが正常に完了した場合、30億ルーブルが追加投資されることになっている。

<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/news.asp?id=1026837>

2019年4月26日「インテルファクス」

ジャタイスキー造船所がヤクーチアに700の新規雇用を創出

基幹プロジェクトである「ジャタイスキー造船所」の建設が開始された。この造船所の立ち上げにより、北海航路を含む、レナ盆地とロシア連邦の北極地帯における内陸水路輸送による直送貨物輸送が可能となる。造船所の建設には訓練を受けた約700人の人材が、ロシア北西部ではその経験を分かち合うことが予定されている。

<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/main.asp?id=1026335>

2019年4月24日「インテルファクス」

アムール湿式精練コンビナート建設の第2段階が開始

「Polymetal社」がAGMK-2の建設を開始した。試運転は2023年に予定されている。同プロジェクトは400人の雇用を創出し、ハバロフスク地方の予算に年間13億ルーブルをもたらすことになる。プロジェクトの生産能力は、硫黄含有量に応じて、年間25万から30万トンの精鉱量となる。硫化物硫黄処理の最大容量は年間48000トンとなる。

<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/news.asp?id=1025517>

2019年4月12日 「インテルファクス」

ロシア極東開発省が新プロジェクトに合わせて「クリル経済特区」の拡大を提案

経済特区に新たな地区を加えることで、総額6600億ルーブルに上る4件の投資プロジェクトが実現可能となる。また、240以上の新規雇用が創出される。プロジェクトは観光業、海産物加工業、建設分野に関するものである。

<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/main.asp?id=1022370>

ロシア極東の新たな発展のメカニズム: 成功の実例

2019年4月26日 「タス通信」

「露中投資基金」が共同で中国パートナーらと人民元で基金を立ち上げ

「露中投資基金」、「Suiyong Capital」、「Dazheng Investment Group」により立ち上げられた「露中基金」は、第一段階で10億元（約1億5000万ドル）を集めた。中国からの主要機関投資家が参加して形成される目標資本は、60～70億元（約10億米ドル）である。同基金は、ロシア中央北部地区とロシア極東、そして中国北東部で戦略的に重要な投資プロジェクトの実施に従事することになる。

<https://tass.ru/ekonomika/6380242>

2019年4月4日 「インテルファクス」

中国投資家がロシア極東で天然ガス生産プロジェクトの実施を企画

中国企業「Guangdong Jovo Energy Group Corporation, Ltd」がロシア極東投資誘致輸出支援局と合意を結んだ。同合意書は、ガス田の開発及び運営・液化天然ガスの生産（液化天然ガスプラントの建設及びガス化学製品の生産への投資を含む）分野のプロジェクトにおける協力を想定している。

<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/news.asp?id=1019912>